

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:00
12月 6日 大塔山県立自然公園
マイナンバーカードを申請しましょう!
12月13日 ICT企業等大規模オフィス誘致に向けた取組について
12月20日 県動物愛護センター
～動物を飼うことについて考えよう～

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

山青し 海青し 文化は輝く
紀の国わかやま文化祭2021
第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会
令和3年10月30日(土)～11月21日(日)

公式リーフレットが完成

今回完成した公式リーフレットには、会期中に開催する130を超える事業の内容を掲載しています。外面では、文化祭の概要、県実行委員会主催事業や広報活動について紹介しており、中面には市町村実行委員会および文化関係団体主催の126もの事業を取り上げています。

リーフレットは、県庁、県内各市町村、県内イベントなどで配布していますので、ぜひ手に取って中身をご覧くださいとともに、本文化祭の会期中の事業やイベントへのご参加お待ちしております!



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局
☎073-441-2417 FAX073-423-7120
紀の国文化祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

知事メッセージ

県民の皆様へ



新たな和歌山モデル

2020年はコロナとの闘いで世界が揺れました。日本もその中で翻弄されましたが、和歌山県もちろん無縁ではられませんでした。

しかし、コロナとの闘いの中で、多くの事がわかってきました。

感染症法の措置も保健所の機能もない欧米では、自粛を緩めたら感染はまた勢いを増すに決まっているのに対し、この対策が機能している日本のほとんどの地域は、感染者は出るけれど、そうそう爆発的に拡大するものではないということです。また、ある程度感染防止上、気を付けていれば、人々が普通の生活をしても、どこでもそうそう感染するというものでもありませんし、入院後の医療加護の方法も知見がずいぶん積み重ねられ、重症化する人や亡くなる人も減りました。

一方、自粛が昂じて、閉じこもりの生活をすぎると、経済の打撃のみならず、心身の健康、社会生活、教育や文化活動など、様々な分野での悪影響も心配されます。

コロナが世界中でかくも蔓延している現状からすれば、我々も長期戦を覚悟して経済・生活とコロナの感染防止の両立を図っていかざるを得ません。それならば、経済理論でも自明のように、感染防止は県が感染症法を駆使して、拡大防止に全力を挙げるから、経済や生活は、県民の皆さんには注意はしていただきながら、恐れすぎず、過度に萎縮せず、送っていただき、国や県はできるだけ制約を課さず、タイムリーに振興助成策も加えていくべきだと考えています。

コロナとの闘いは、何弾にも分けて繰り広げられてきましたが、和歌山県はその都度好成績を挙げ、そのいくつかは「和歌山モデル」と言われたりしました。コロナとの闘いが長期戦に入った今、上記の考え方で、県当局、医療関係者、そして県民の皆さんが力を合わせて協力していくことを新たな「和歌山モデル」としたいと思います。

和歌山県知事 **仁坂 吉伸**



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 **80**

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。